

西宮市財政事情

令和6年度上半期

令和6年9月1日現在

人 口 482,682人
世帯数 221,776世帯
面 積 100.18km²

地方自治法第243条の3第1項の規定に基づく「財政事情の公表に関する条例」の定めるところにより、令和6年度上半期（令和6年4月1日から令和6年9月30日まで）の本市の財政事情及び令和5年度の決算概要を次のとおり公表します。

1. 令和6年度上半期の状況

(1) 予算額、収入及び支出の状況

令和6年9月30日現在における予算現額、収入及び支出の状況は、第1表及び第2表のとおりです。

予算現額では、一般会計は2,113億2,928万円、特別会計は945億4,730万円、両会計の合計額は3,058億7,658万円となっており、当初予算と比べ82億2,733万円の増となっていますが、この中には、前年度からの繰越分15億1,208万円が含まれているため、実質的には67億1,525万円を増額補正したことになります。

一般会計における歳出の補正の主なものとしては、民生費51億4,379万円、衛生費8億5,619万円、総務費4億196万円、教育費1億758万円などを増額しています。歳入では、国庫支出金41億5,979万円、繰入金14億9,137万円、諸収入6億4,485万円、繰越金5億2,215万円などを増額、市債2億7,450万円を減額しています。また、特別会計では介護保険9,759万円などを増額しています。

予算に対する収入及び支出の状況については、一般会計の収入では、市税が530億3,691万円（執行率 59.2%）、国庫支出金が120億3,758万円（執行率 27.3%）、地方消費税交付金が62億4,161万円（執行率 59.5%）、地方交付税が44億129万円（執行率 70.5%）、使用料及び手数料が29億5,772万円（執行率 44.9%）などとなっています。なお、繰越金は前年度からの決算剰余金を収入したため、7億3,903万円（執行率 100.0%）の収入となっています。また、支出では、民生費が396億6,696万円（執行率 39.3%）、総務費が84億1,704万円（執行率 37.8%）、教育費が84億9,936万円（執行率 34.8%）などとなっています。

特別会計の状況については、国民健康保険が収入136億8,824万円（執行率 31.9%）・支出132億7,466万円（執行率 30.9%）、介護保険が収入169億9,750万円（執行率 41.8%）・支出169億2,831万円（執行率 41.6%）、後期高齢者医療事業が収入38億7,014万円（執行率 42.0%）・支出31億3,897万円（執行率 34.0%）などとなっています。

(2) 公営企業の業務状況

病院事業、水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の業務状況は、別途公表のとおりです。

(3) 市債、公有財産及び一時借入金等の状況

市債、公有財産及び一時借入金等の状況は、第3表のとおりです。

2. 令和5年度決算概要について

令和5年度決算概要は、一般会計では、歳入が1,983億3,830万円に対し、歳出は1,975億9,926万円で、差し引き7億3,904万円の剰余となりましたが、繰越事業費15億1,208万円の充当財源として、2億1,689万円を翌年度に繰越しているため、実質的には5億2,215万円の黒字となっています。(第4表参照)

歳入の主なものは、市税908億5,194万円(構成率45.8%)、国庫支出金448億7,622万円(構成率22.6%)、県支出金134億8,561万円(構成率6.8%)です。歳出の主なものは、民生費994億479万円(構成率50.3%)、総務費227億5,952万円(構成率11.5%)、教育費201億1,284万円(構成率10.2%)です。(第5表参照)

一般会計の歳出を性質別に見ると、人件費などの消費的経費が1,525億7,811万円(構成率77.3%)、学校や市営住宅などの公共施設の整備・改修である投資的経費が132億9,608万円(構成率6.7%)、その他経費が317億2,507万円(構成率16.0%)となっています。(第7表参照)

一般会計の歳出決算額を市民一人あたりに換算すると、40万9,560円となります。また、同様に市税収入を市民一人あたりに換算すると、18万8,307円となります。(第8表参照)

次に特別会計については、8会計合計で、歳入940億2,591万円に対し、歳出927億2,492万円で、差し引き13億99万円の黒字となっています。(第4表参照)

令和5年度は、待機児童対策などの子育て支援や、ゼロカーボンシティ実現に向けた取組、市民サービスの向上や業務の効率化に資するICT化などに取り組みました。

一般会計の歳入では、根幹となる市税収入は、家屋の新增改築等により固定資産税及び都市計画税は増となりましたが、株式等譲渡所得等の減による個人市民税の減収の影響により、前年度に比べ減となりました。また、前年度繰越金の大幅な減により繰越金が、さらに教育施設等の施設整備の進捗などにより市債がいずれも減となったことにより、総額で前年度に比べ30億3,070万円の減額となりました。

歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種の減等の影響により、衛生費が大幅に減になったことや、前年度繰越金の大幅な減による影響で財政基金積立金が大幅な減となったことによる総務費の減、また事業進捗による学校施設整備が減となったことによる教育費の減となったことなどから、総額で前年度に比べ29億9,190万円の減額となりました。

た

今後は、社会保障費の増大や公共施設の老朽化対策などに加え、物価変動の影響や、社会経済情勢の変化等に伴う課題に取り組むための財政支出が見込まれます。

一方で、地方交付税・交付金等も含めて必要な支出に対する財源の確保が極めて難しくなるなど、非常に厳しい財政運営を強いられる見込みとなっています。

厳しい財政状況の中、今後の収支見通しでは毎年度基金を取り崩していく見込みであり、このままでは数年後に予算編成に大きな支障が生じることも考えられるため、「西宮市財政構造改善基本方針」を策定し、今後全庁をあげて抜本的な財政構造の改善に取り組んでまいります。

第1表

令和6年度 一般会計予算とその執行状況

令和6年9月30日現在

(単位:円)

科目	歳入				収入済額 B	執行率 B/A (%)
	予算額			構成率 (%)		
	当初予算額	補正額	予算現額 A			
市税	89,537,806,000	0	89,537,806,000	42.4	53,036,907,805	59.2
地方譲与税	880,155,000	0	880,155,000	0.4	248,740,816	28.3
利子割交付金	62,000,000	0	62,000,000	0.0	25,090,000	40.5
配当割交付金	956,000,000	0	956,000,000	0.5	259,869,000	27.2
株式等譲渡所得割交付金	1,137,000,000	0	1,137,000,000	0.5	0	0.0
法人事業税交付金	861,000,000	0	861,000,000	0.4	432,833,000	50.3
地方消費税交付金	10,486,000,000	0	10,486,000,000	5.0	6,241,608,000	59.5
ゴルフ場利用税交付金	141,000,000	0	141,000,000	0.1	58,897,794	41.8
環境性能割交付金	218,000,000	0	218,000,000	0.1	56,726,000	26.0
地方特例交付金	2,490,000,000	0	2,490,000,000	1.2	2,582,281,000	103.7
地方交付税	6,244,000,000	0	6,244,000,000	3.0	4,401,291,000	70.5
交通安全対策特別交付金	58,100,000	0	58,100,000	0.0	22,166,000	38.2
分担金及び負担金	813,110,000	14,857,000	827,967,000	0.4	333,117,717	40.2
使用料及び手数料	6,589,133,000	0	6,589,133,000	3.1	2,957,720,528	44.9
国庫支出金	39,251,432,000	4,159,792,000	44,109,513,000	20.9	12,037,578,293	27.3
県支出金	13,709,870,000	48,935,000	13,758,805,000	6.5	801,597,223	5.8
財産収入	1,531,483,000	0	1,531,483,000	0.7	1,240,093,746	81.0
寄附金	217,993,000	0	217,993,000	0.1	68,364,787	31.4
繰入金	8,092,000,000	1,491,365,000	9,583,365,000	4.5	12,899,700	0.1
繰越金	1,000	522,145,000	739,033,200	0.3	739,033,373	100.0
諸収入	6,462,475,000	644,847,000	7,107,322,000	3.4	1,173,775,928	16.5
市債	13,471,200,000	△ 274,500,000	13,196,700,000	6.5	0	0.0
歳入合計	203,209,758,000	6,607,441,000	211,329,275,200	100.0	86,730,591,710	41.0

科目	歳出				支出済額 D	執行率 D/C (%)
	予算額			構成率 (%)		
	当初予算額	補正額	予算現額 C			
議会費	856,141,000	5,632,000	861,773,000	0.4	432,889,039	50.2
総務費	21,833,669,000	401,962,000	22,290,982,000	10.5	8,417,044,137	37.8
民生費	95,434,279,000	5,143,787,000	100,827,705,000	47.7	39,666,959,006	39.3
衛生費	20,145,800,000	856,185,000	21,229,773,000	10.0	7,164,629,803	33.7
労働費	372,140,000	934,000	373,074,000	0.2	173,230,428	46.4
農林水産費	160,403,000	829,000	161,232,000	0.1	59,459,201	36.9
商工費	871,997,000	3,325,000	875,322,000	0.4	275,463,508	31.5
土木費	18,324,652,000	31,747,000	19,172,661,200	9.1	7,509,203,719	39.2
消防費	6,624,099,000	55,430,000	6,690,403,000	3.2	2,747,732,210	41.1
教育費	24,187,478,000	107,577,000	24,447,217,000	11.6	8,499,364,175	34.8
災害復旧費	2,000,000	0	2,000,000	0.0	0	0.0
公債費	14,301,207,000	0	14,301,207,000	6.8	7,014,705,768	49.0
諸支出金	15,893,000	33,000	15,926,000	0.0	0	0.0
予備費	80,000,000	0	80,000,000	0.0	0	0.0
歳出合計	203,209,758,000	6,607,441,000	211,329,275,200	100.0	81,960,680,994	38.8

(注) 上段の数字は、前年度からの繰越事業費の再掲

第2表

令和6年度 特別会計予算とその執行状況

令和6年9月30日現在 (単位:円)

会 計	予 算 額			収入済額 B	執行率 B/A (%)	支出済額 C	執行率 C/A (%)
	当初予算額	補正額	予算現額 A				
国民健康保険	42,907,705,000	7,057,000	42,914,762,000	13,688,238,042	31.9	13,274,656,456	30.9
食肉センター	345,084,000	0	345,084,000	36,767,252	10.7	172,569,588	50.0
公共用地買収事業	7,210,000	0	7,210,000	9,643,662	133.8	57,070	0.8
介護保険	40,593,781,000	97,588,000	40,691,369,000	16,997,504,241	41.8	16,928,305,218	41.6
後期高齢者医療事業	9,215,864,000	3,163,000	9,219,027,000	3,870,143,359	42.0	3,138,965,376	34.0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	26,906,000	0	26,906,000	21,784,772	81.0	2,884,406	10.7
鳴尾外財産区	24,813,000	0	24,813,000	24,251,114	97.7	18,937,182	76.3
集合支払費	1,318,128,000	0	1,318,128,000	358,921,518	27.2	611,970,160	46.4
特別会計 合計	94,439,491,000	107,808,000	94,547,299,000	35,007,253,960	37.0	34,148,345,456	36.1

第3表

市債、公有財産及び一時借入金等の状況

令和6年9月30日現在

市債の現在高

区 分		金 額 (円)
一般会計		120,469,103,711
特別会計		288,965,488
内 訳	食肉センター	263,357,803
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	25,607,685
合 計		120,758,069,199

公有財産の状況

区 分		数 量 (㎡)	評価額 (千円)	構成率 (%)
行政 財産	土 地	5,485,332.52	658,930,400	60.2
	建 物	1,556,374.77	341,171,580	31.1
	計	7,041,707.29	1,000,101,980	91.3
普通 財産	土 地	4,368,594.40	69,383,276	6.3
	建 物	48,262.49	10,646,712	1.0
	計	4,416,856.89	80,029,988	7.3
有価証券・その他			15,604,453	1.4
合 計	土 地	9,853,926.92	728,313,676	66.5
	建 物	1,604,637.26	351,818,292	32.1
	有価証券・その他		15,604,453	1.4
合 計		11,458,564.18	1,095,736,421	100.0

一時借入金等の状況

(単位:千円)

借入金残額	0
-------	---

第4表

令和5年度 決算総括表

(単位:円)

会 計	区 分	決 算 額
一般会計	歳入総額	198,338,298,047
	歳出総額	197,599,264,674
	歳入歳出差引額	739,033,373
	翌年度へ繰越すべき財源	216,887,200
	実質収支	522,146,173
特別会計	歳入総額	94,025,911,339
	歳出総額	92,724,918,164
	歳入歳出差引額	1,300,993,175
	翌年度へ繰越すべき財源	0
	実質収支	1,300,993,175
合 計	歳入総額	292,364,209,386
	歳出総額	290,324,182,838
	歳入歳出差引額	2,040,026,548
	翌年度へ繰越すべき財源	216,887,200
	実質収支	1,823,139,348

第6表

令和5年度 特別会計決算額

(単位:円)

会 計	予 算 現 額 A	歳 入		歳 出	
		決算額 B	収入率 B/A (%)	決算額 C	支出率 C/A (%)
国民健康保険	44,493,133,000	43,909,545,132	98.7	43,640,217,281	98.1
食肉センター	353,083,000	324,567,489	91.9	324,567,489	91.9
公共用地買収事業	7,250,000	13,647,769	188.2	4,743,972	65.4
介護保険	40,409,835,000	39,819,577,895	98.5	39,113,345,027	96.8
後期高齢者医療事業	8,751,749,000	8,807,845,653	100.6	8,509,160,249	97.2
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	28,153,000	29,716,359	105.6	11,873,104	42.2
鳴尾外財産区	26,167,000	26,165,022	100.0	26,165,022	100.0
集合支払費	1,336,285,000	1,094,846,020	81.9	1,094,846,020	81.9
特別会計 合計	95,405,655,000	94,025,911,339	98.6	92,724,918,164	97.2

第7表

令和5年度 一般会計・特別会計 歳出決算額(性質別)

(単位:円)

区 分		一般会計	構成率	特別会計	構成率	合 計	構成率
			(%)		(%)		(%)
消費の経費		152,578,108,802	77.3	91,725,234,068	98.9	244,303,342,870	84.1
内 訳	人件費	37,344,336,401	18.9	936,276,079	1.0	38,280,612,480	13.2
	物件費	29,517,445,232	15.0	3,386,119,137	3.7	32,903,564,369	11.3
	維持補修費	3,559,158,855	1.8	13,397,670	0.0	3,572,556,525	1.2
	扶助費	65,543,844,862	33.2	22,027,810	0.0	65,565,872,672	22.6
	補助費等	16,613,323,452	8.4	87,367,413,372	94.2	103,980,736,824	35.8
投資の経費		13,296,084,209	6.7	4,743,972	0.0	13,300,828,181	4.6
内 訳	普通建設事業費	13,296,084,209	6.7	4,743,972	0.0	13,300,828,181	4.6
	内 補助事業費	8,287,481,946	4.2	0	0.0	8,287,481,946	2.9
	内 単独事業費	5,008,602,263	2.5	4,743,972	0.0	5,013,346,235	1.7
	災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	失業対策事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
公債費		14,658,054,474	7.4	71,480,132	0.1	14,729,534,606	5.1
積立金		4,373,681,467	2.2	753,816,670	0.8	5,127,498,137	1.8
投資及び出資金		233,162,809	0.1	0	0.0	233,162,809	0.1
貸付金		38,905,000	0.0	9,518,000	0.0	48,423,000	0.0
繰出金		12,421,267,913	6.3	160,125,322	0.2	12,581,393,235	4.3
前年度繰上充用金		0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計		197,599,264,674	100.0	92,724,918,164	100.0	290,324,182,838	100.0

第8表

令和5年度 一般会計決算 市民一人あたりの歳出額・税負担額

人口 482,467 人
 世帯数 220,789 世帯 (令和6年3月31日現在)

一般会計 歳出決算

科目	決算額 (円)	市民一人 あたりの額 (円)	一世帯 あたりの額 (円)
合計	197,599,264,674	409,560	894,969
議会費	814,199,143	1,688	3,688
総務費	22,759,524,919	47,173	103,083
民生費	99,404,788,009	206,034	450,225
衛生費	17,390,209,614	36,044	78,764
労働費	246,329,528	511	1,116
農林水産費	152,060,382	315	689
商工費	1,674,305,195	3,470	7,583
土木費	14,551,810,653	30,161	65,908
消防費	5,819,414,737	12,062	26,357
教育費	20,112,842,381	41,688	91,095
災害復旧費	0	0	0
公債費	14,658,054,474	30,381	66,390
諸支出金	15,725,639	33	71

市税収入の決算額

区分	決算額 (円)	市民一人 あたりの額 (円)	一世帯 あたりの額 (円)
市税	90,851,941,950	188,307	411,488
うち個人市民税	41,211,497,846	85,418	186,656
固定資産税	33,779,648,617	70,014	152,995
都市計画税	8,032,103,413	16,648	36,379
市たばこ税	2,307,965,814	4,784	10,453
その他の市税	5,520,726,260	11,443	25,005

令和 6 年度上半期病院事業 業務状況報告

1. 病院事業の概況

業務実績

当年度上半期における入院患者数は、延べ 21,339 人(1 日平均 116.6 人)、外来患者数は、延べ 47,590 人(1 日平均 383.8 人)となり、前年同期に比べ入院患者数においては、1,361 人増加(1 日平均 7.4 人増)し、外来患者数においては、713 人増加(1 日平均 5.8 人増)しました。

区 分		6 年度上半期	5 年度上半期	増 減	増 減 率
入院	延 患 者 数	21,339 人	19,978 人	1,361 人	6.8 %
	診 療 日 数	183 日	183 日	—	—
	1 日 平 均	116.6 人	109.2 人	7.4 人	6.8 %
外来	延 患 者 数	47,590 人	46,877 人	713 人	1.5 %
	診 療 日 数	124 日	124 日	—	—
	1 日 平 均	383.8 人	378.0 人	5.8 人	1.5 %

区 分		6 年度上半期	5 年度上半期	増 減	増 減 率
入院	収 益	1,289,491,842 円	1,281,363,242 円	8,128,600 円	0.6 %
	1 人 1 日平均	60,429 円	64,139 円	△3,710 円	△5.8 %
外来	収 益	800,069,493 円	774,898,345 円	25,171,148 円	3.2 %
	1 人 1 日平均	16,812 円	16,530 円	282 円	1.7 %

2. 経理の状況

令和6年度上半期における収益的収支の状況は、病院事業収益で一般会計からの繰入金 876,895,000円を含めて 3,106,173,864円となり、対する病院事業費用は、2,784,615,409円で差引き 321,558,455円の純利益となりました。

科目別に前年度同期と比較しますと、収益は、医業収益が 2,470,421,406円となり、35,225,884円の増加（1.4%増）、医業外収益が 633,630,299円となり、13,980,675円の増加（2.3%増）、特別利益が 2,122,159円となり、4,645,561円の減少（68.6%減）となりました。

収益合計は、前年度同期に比べ、44,560,998円の増加（1.5%増）となりました。

収益の主な増減の内容は、次のとおりです。

医業収益では、入院収益において、1人1日平均診療単価が 3,710円減少（5.8%減）しましたが、延患者数が 1,361人増加（6.8%増）したことにより 8,128,600円の増加（0.6%増）となりました。

一方、外来収益においては、延患者数が 713人増加（1.5%増）、1人1日平均診療単価も 282円増加（1.7%増）したことにより 25,171,148円の増加（3.2%増）となりました。

医業外収益では、国県補助金が 41,125,187円の減少（皆減）、一般会計負担金が 60,523,000円の増加（14.8%増）となっています。

特別利益では、過年度損益修正益が 4,702,462円の減少（69.5%減）となりました。

対する費用は、医業費用が 2,736,020,450円となり、8,459,668円の増加（0.3%増）、医業外費用が 48,569,239円となり、766,799円の減少（1.6%減）、特別損失が 25,720円となり、289,544円の減少（91.8%減）となりました。

費用合計は、前年度同期に比べ、7,403,325円の増加（0.3%増）となりました。

費用の主な増減の内容は、次のとおりです。

医業費用では、給与費が報酬等の増加により 15,858,825円の増加（1.2%増）、材料費が診療材料費等の増加により 15,433,936円の増加（2.6%増）、経費が光熱水費等の増加により 3,582,754円の増加（0.6%増）、減価償却費が 28,752,000円の減少（19.1%減）、研究研修費が 2,336,153円の増加（33.1%増）となっています。

医業外費用の減少は、長期前払消費税償却が 1,183,500円減少（14.6%減）したことなどによります。

特別損失の減少は、過年度損益修正損が 289,544円減少（91.8%減）したことなどによります。

損益は、令和6年度上半期 321,558,455円の純利益となりました。

資本的収支は、収入が 101,905,500円、支出が 108,116,484円となっています。

（注1）減価償却費、消費税及び地方消費税、長期前払消費税額償却、及び雑支出については、予算額の1/2を計上しています。

（注2）消費税及び地方消費税については、期末一括税抜処理とするため、上半期分は税込額です。

収益的収入及び支出前年度比較

(単位：円)

科 目	6年度上半期	5年度上半期	増 減 額	増 減 率 %
病院事業収益	3,106,173,864	3,061,612,866	44,560,998	1.5
医業収益	2,470,421,406	2,435,195,522	35,225,884	1.4
入院収益	1,289,491,842	1,281,363,242	8,128,600	0.6
外来収益	800,069,493	774,898,345	25,171,148	3.2
その他医業収益	380,860,071	378,933,935	1,926,136	0.5
医業外収益	633,630,299	619,649,624	13,980,675	2.3
受取利息	0	0	0	—
国県補助金	0	41,125,187	-41,125,187	-100.0
一般会計負担金	468,411,000	407,888,000	60,523,000	14.8
一般会計補助金	153,067,000	158,813,000	-5,746,000	-3.6
雑収益	0	0	0	—
その他医業外収益	12,152,299	11,823,437	328,862	2.8
特別利益	2,122,159	6,767,720	-4,645,561	-68.6
過年度損益修正益	2,065,258	6,767,720	-4,702,462	-69.5
その他特別利益	56,901	0	56,901	100.0
病院事業費用	2,784,615,409	2,777,212,084	7,403,325	0.3
医業費用	2,736,020,450	2,727,560,782	8,459,668	0.3
給与費	1,392,154,771	1,376,295,946	15,858,825	1.2
材料費	607,265,257	591,831,321	15,433,936	2.6
経 費	605,095,413	601,512,659	3,582,754	0.6
減価償却費	122,102,500	150,854,500	-28,752,000	-19.1
資産減耗費	0	0	0	—
研究研修費	9,402,509	7,066,356	2,336,153	33.1
医業外費用	48,569,239	49,336,038	-766,799	-1.6
支払利息及び企業債取扱諸費	487,239	450,538	36,701	8.1
消費税及び地方消費税	6,770,500	6,146,500	624,000	10.2
長期前払消費税額償却	6,914,500	8,098,000	-1,183,500	-14.6
雑支出	34,397,000	34,641,000	-244,000	-0.7
特別損失	25,720	315,264	-289,544	-91.8
過年度損益修正損	25,720	315,264	-289,544	-91.8
その他特別損失	0	0	0	—
予備費	0	0	0	—
差 引 損 益	321,558,455	284,400,782	37,157,673	—

(注1) 減価償却費、消費税及び地方消費税、長期前払消費税額償却及び雑支出については、予算額の1/2を計上しています。

(注2) 消費税及び地方消費税については、期末一括税抜処理とするため、上半期分は税込額です。

資 本 的 収 入 及 び 支 出 前 年 度 比 較

(単位：円)

科 目	6年度上半期	5年度上半期	増 減 額	増 減 率 %
資本的収入	101,905,500	110,330,500	-8,425,000	-7.6
企業債	0	0	0	—
出資金	99,433,000	109,073,000	-9,640,000	-8.8
他会計からの長期借入金	0	0	0	—
貸付金返還金	2,472,500	1,257,500	1,215,000	96.6
資本的支出	108,116,484	130,269,476	-22,152,992	-17.0
建設改良費	8,684,390	21,197,000	-12,512,610	-59.0
企業債償還金	99,432,094	109,072,476	-9,640,382	-8.8
他会計からの長期借入金償還金	0	0	0	—
投資	0	0	0	—
差 引	-6,210,984	-19,938,976	13,727,992	—

令和6年度上半期損益計算書 (R6. 4. 1~R6. 9. 30)

(単位：円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
医業費用	2,736,020,450	医業収益	2,470,421,406
給与費	1,392,154,771	入院収益	1,289,491,842
材料費	607,265,257	外来収益	800,069,493
経費	605,095,413	その他医業収益	380,860,071
減価償却費	122,102,500	医業外収益	633,630,299
資産減耗費	0	受取利息	0
研究研修費	9,402,509	国県補助金	0
医業外費用	48,569,239	一般会計負担金	468,411,000
支払利息及び企業債取扱諸費	487,239	一般会計補助金	153,067,000
消費税及び地方消費税	6,770,500	雑収益	0
長期前払消費税額償却	6,914,500	その他医業外収益	12,152,299
雑支出	34,397,000	特別利益	2,122,159
		過年度損益修正益	2,065,258
特別損失	25,720	その他特別利益	56,901
過年度損益修正損	25,720		
その他特別損失	0		
当期純利益	321,558,455		
合計	3,106,173,864	合計	3,106,173,864

(注1) 減価償却費、消費税及び地方消費税、長期前払消費税額償却及び雑支出については、予算額の1/2を計上しています。

(注2) 消費税及び地方消費税については、期末一括税抜処理とするため、上半期分は税込額です。

令和6年度上半期貸借対照表（R6.9.30現在）

（単位：円）

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	3,722,680,430	固定負債	4,814,890,802
有形固定資産	3,690,826,659	他会計借入金	3,484,755,581
投資その他の資産	31,853,771	企業債	215,130,655
		引当金	1,115,004,566
流動資産	1,437,320,934		
現金預金	724,535,120	流動負債	477,230,823
未収金	643,128,887	一時借入金	0
貯蔵品	60,215,436	他会計借入金	10,700,000
前払金	9,441,491	企業債	99,465,540
		未払金	335,069,017
		その他流動負債	31,996,266
		繰延収益	176,776,928
		長期前受金	614,779,273
		長期前受金収益化累計額	△ 438,002,345
		資本金	15,056,867,729
		剰余金	△ 15,365,764,918
		資本剰余金	885,712,370
		利益剰余金	△ 16,251,477,288
資 産 合 計	5,160,001,364	負債・資本合計	5,160,001,364

（注）有形固定資産の減価償却累計額 8,962,671,449 円

1. 令和5年度決算の状況

令和5年度事業における業務量及び経理状況は、次のとおりです。

(1) 業務状況

ア. 病床数	257 床
イ. 年間入院延患者数 (診療日数 366 日)	39,723 人
ウ. 年間外来延患者数 (診療日数 243 日)	93,332 人
エ. 1日平均入院患者数	108.5 人
オ. 1日平均外来患者数	384.1 人

(2) 経理状況

①収益及び費用

(単位：円)

収 益 の 部		費 用 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院事業収益	5,360,005,717	病院事業費用	6,335,560,445
医業収益	4,562,768,255	医業費用	6,081,924,727
入院収益	2,481,549,710	給与費	3,288,477,321
外来収益	1,597,939,228	材料費	1,172,880,507
その他医業収益	483,279,317	経 費	1,295,077,265
医業外収益	789,352,526	減価償却費	301,447,863
受取利息	0	資産減耗費	1,985,606
国県補助金	141,654,327	研究研修費	22,056,165
一般会計負担金	407,978,354	医業外費用	225,911,774
一般会計補助金	183,868,032	支払利息及び企業債取扱諸費	896,305
雑収益	1,624	長期前払消費税額償却	15,946,588
長期前受金戻入	27,706,154	雑支出	209,068,881
その他医業外収益	28,144,035		
特別利益	7,884,936	特別損失	27,723,944
過年度損益修正益	7,884,936	過年度損益修正損	24,773,944
一般会計補助金	0	その他特別損失	2,950,000
その他特別利益	0		

②資本的収入及び支出

(単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資本的収入	285,620,179	資本的支出	278,397,809
企業債	43,500,000	建設改良費	54,937,223
出資金	229,597,809	企業債償還金	218,160,586
補助金	10,112,370	他会計からの長期借入金償還金	5,300,000
他会計からの長期借入金	0	投資	0
貸付金返還金	2,410,000		
寄附金	0		

令和6年度上半期 水道事業の業務の状況

1 事業の概況

(1) 給水

区 分	令和6年度上半期	令和5年度上半期	前年比
給 水 戸 数	242,914 戸	241,758 戸	100.5 %
給 水 装 置 数	122,575 個	121,176 個	101.2 %
給 水 人 口	482,600 人	483,642 人	99.8 %
配 水 量	(24,983,510) m ³	(25,125,474) m ³	98.9 %
	26,272,080 m ³	26,553,524 m ³	
一日最大配水量	(7月22日)	(7月18日)	98.5 %
	152,617 m ³	154,885 m ³	
一日最小配水量	(9月22日)	(8月15日)	98.9 %
	126,500 m ³	127,876 m ³	
一日平均配水量	143,563 m ³	145,101 m ³	98.9 %

注 配水量の（ ）は内数で、阪神水道企業団及び兵庫県企業庁からの受水量

9月末の給水戸数は 242,914 戸で、給水人口は 482,600 人です。
 配水量については、前年同期に比べて、
 一日最大配水量は、 1.5% (2,268 m³) 減の 152,617 m³で、
 一日平均配水量は、 1.1% (1,538 m³) 減の 143,563 m³です。

(2) 建設

原水及び浄水施設費で施工している主な工事としては、次の工事があります。

1. 鳴尾浄水場3号ろ過機ろ過排水弁更新工事

配水施設費で施工している主な工事としては、次の工事があります。

1. 丸山浄水場中央監視設備更新工事
2. 国見台高区第1配水槽ほか耐震補強工事
3. 中野中継場移転更新築造工事
4. 中野中継場移転更新設備工事

また、市内各所の送配水管2,567.8mを布設改良しました。

(3) 受託工事

区分	令和6年度上半期		令和5年度上半期		前年比
給水装置 修繕工事	854 件	宅地内 有料 165 無料 689	897 件	宅地内 有料 189 無料 708	95.2 %
給水本管 布設等	0 件	布設 0m 撤去 0m	2 件	布設 0m 撤去 0m	- %

2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が49億717万円(給水収益等)で、これに対する営業費用の44億4,311万円を差引くと4億6,406万円の営業利益となります。これに営業外収益(分担金、長期前受金戻入等)と営業外費用(支払利息等)を加減すると6億7,753万円の経常利益となり、特別利益(その他特別利益等)を加減すると、当期は7億5,713万円の純利益となります。

(令和6年9月30日現在)

科 目	令和6年度上半期	令和5年度上半期	前年比(%)
1 営業収益	4,907,179,749	4,935,183,890	99.4
(1)給水収益	4,754,746,218	4,751,272,715	100.1
(2)受託工事収益	2,284,468	43,012,458	5.3
(3)その他の営業収益	150,149,063	140,898,717	106.6
			-
2 営業費用	4,443,111,741	4,488,238,579	99.0
(1)原水及び浄水費	283,175,104	292,675,053	96.8
(2)受水費	1,937,516,229	1,888,887,121	102.6
(3)配水費	368,646,185	409,283,767	90.1
(4)給水費	176,312,959	159,559,458	110.5
(5)受託工事費	3,221,940	38,881,641	8.3
(6)業務費	243,284,784	245,575,762	99.1
(7)総係費	130,339,055	150,055,404	86.9
(8)減価償却費	1,239,629,500	1,249,125,500	99.2
(9)資産減耗費	60,373,000	53,743,500	112.3
(10)その他営業費用	612,985	451,373	135.8
			-
営業利益	464,068,008	446,945,311	103.8
			-
3 営業外収益	425,906,017	485,779,778	87.7
(1)受取利息	955,576	620,821	153.9
(2)分担金	50,477,900	98,414,250	51.3
(3)他会計補助金	0	0	-
(4)長期前受金戻入	367,589,000	381,232,500	96.4
(5)雑収益	6,883,541	5,512,207	124.9
			-
4 営業外費用	212,434,032	224,978,372	94.4
(1)支払利息等	122,434,032	124,978,372	98.0
(2)消費税	90,000,000	100,000,000	90.0
(3)雑支出	0	0	-
経常利益	677,539,993	707,746,717	95.7
			-
5 特別利益	79,597,669	0	皆増
(1)固定資産売却益	0	0	-
(2)過年度損益修正益	13,169,669	0	皆増
(3)その他特別利益	66,428,000	0	皆増
			-
6 特別損失	0	0	-
(1)固定資産売却損	0	0	-
(2)固定資産譲渡損	0	0	-
(3)過年度損益修正損	0	0	-
(4)減損損失	0	0	-
当期純利益	757,137,662	707,746,717	107.0
前期末未処分利益剰余金	3,530,978,316	3,461,987,709	102.0
利益剰余金処分額	0	0	-
当期末未処分利益剰余金	4,288,115,978	4,169,734,426	102.8

(注1) 長期前受金戻入、減価償却費、資産減耗費、消費税は、年間予算額の1/2である。

(注2) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。

当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

水道事業貸借対照表

(令和6年9月30日現在)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
固定資産	58,476,218,677	固定負債	20,616,268,455
有形固定資産	56,782,898,077	企業債	19,093,140,632
土地	8,249,268,862	リース債務	47,971,484
建物	1,138,116,588	退職給付引当金	1,475,156,339
構築物	41,278,726,629	修繕引当金	0
機械及び装置	4,912,892,417	流動負債	1,534,723,671
車両運搬具	25,210,724	企業債	466,329,389
船舶	224,543	リース債務	8,980,664
工具器具及び備品	17,684,814	未払金	268,726,193
リース資産	53,639,980	前受金	363,425,568
建設仮勘定	675,770,594	賞与引当金	0
工事勘定	431,362,926	一時借入金	0
無形固定資産	1,191,634,315	その他流動負債	427,261,857
投資	501,686,285	繰延収益	11,927,217,134
投資有価証券	500,000,000	長期前受金	36,102,112,872
出資金	1,686,285	長期前受金収益化累計額	△ 24,174,895,738
長期貸付金	0	資本金	21,674,117,499
定期預金	0	自己資本金	21,674,117,499
流動資産	6,144,657,641	剰余金	8,868,549,559
現金預金	4,729,483,460	資本剰余金	3,385,747,581
未収金	984,124,584	利益剰余金	5,482,801,978
貯蔵品	85,452,614	減債積立金	0
前払金	345,596,983	建設改良積立金	665,786,000
短期貸付金	0	当期末未処分利益剰余金	4,288,115,978
前払費用	0	その他未処分利益剰余金変動額	528,900,000
その他流動資産	0	当年度未処理欠損金	0
計	64,620,876,318	計	64,620,876,318

(注1) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。

令和5年度水道事業の決算の状況

令和5年度末の給水人口は、48万2,354人で、前年度より1,092人(0.2%)減少しています。また、給水戸数は24万2,340戸で、前年度より1,219戸(0.5%)増加しました。年間の配水量は5,296万4,363立方メートルとなり、前年度より29万3,333立方メートル(0.6%)減少しました。

令和5年度の収入は、受託工事収益で増となりましたが、給水収益等の減により、前年度に比べて、4,008万円の減となりました。支出は、人件費等で増となりましたが、委託料等の減により、前年度に比べて、1億907万円の減となりました。

この結果、令和5年度の決算は、給水収益などの収益的収入総額101億5,303万円に対し、給水収益などをもって充てる経費である収益的支出総額は95億668万円で、差引6億4,635万円の純利益となりました。また、令和5年度末の累積黒字(未処分利益剰余金)は40億5,988万円となりました。

資本的収支においては、建設改良費、企業債償還金等の資本的支出は、39億7,395万円となりました。この財源として企業債、工事負担金等の資本的収入13億5,791万円で賄い、なお不足する額26億1,604万円は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

令和6年度上半期 工業用水道事業の業務の状況

1 事業の概況

(1) 給水

区分	令和6年度上半期	令和5年度上半期	前年比
給水契約事業所数	52 所	52 所	100.0 %
給水事業所数	52 所	52 所	100.0 %
給水施設数	53 箇所	53 箇所	100.0 %
一日契約水量	17,127 m ³	17,127 m ³	100.0 %
配水量	1,796,745 m ³	1,980,743 m ³	90.7 %
一日最大配水量	(9月10日) 12,109 m ³	(6月27日) 15,369 m ³	78.8 %
一日最小配水量	(5月12日) 6,123 m ³	(5月3日) 6,715 m ³	91.2 %
一日平均配水量	9,818 m ³	10,824 m ³	90.7 %

9月末の給水契約事業所数と給水事業所数は、前年と同数の52箇所
で、給水施設数は、前年と同数の53箇所です。

一日契約水量は、前年と同水量の 17,127 m³です。

配水量については、前年同期に比べて、

一日最大配水量は、 21.2% (3,260 m³) 減の 12,109 m³で、

一日平均配水量は、 9.3% (1,006 m³) 減の 9,818 m³です。

2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が2億354万円（給水収益）で、これに対する営業費用の1億6,546万円を差引くと3,808万円の営業利益となります。これに営業外収益（長期前受金戻入等）と営業外費用（支払利息等）を加減すると3,975万円の経常利益となり、当期は3,975万円の純利益となります。

（令和6年9月30日現在）

科目	令和6年度上半期	令和5年度上半期	前年比(%)
1 営業収益	203,544,421	158,284,765	128.6
(1)給水収益	203,544,421	158,284,765	128.6
(2)受託工事収益	0	0	-
(3)その他の営業収益	0	0	-
2 営業費用	165,463,373	173,864,461	95.2
(1)原水費	54,607,717	64,486,980	84.7
(2)浄水費	12,740,547	12,967,500	98.2
(3)配水費	58,146,801	59,391,594	97.9
(4)受託工事費	0	0	-
(5)業務費	14,355	67,924	21.1
(6)総係費	6,693,953	5,365,463	124.8
(7)減価償却費	28,722,500	28,371,500	101.2
(8)資産減耗費	4,537,500	3,213,500	141.2
(9)その他営業費用	0	0	-
営業利益	38,081,048	△15,579,696	-
3 営業外収益	4,822,883	6,182,275	78.0
(1)受取利息	120,799	42,891	281.6
(2)分担金	0	0	-
(3)長期前受金戻入	4,696,000	6,106,000	76.9
(4)他会計補助金	0	0	-
(5)雑収益	6,084	33,384	18.2
4 営業外費用	3,153,411	3,212,736	98.2
(1)支払利息等	1,653,411	1,712,736	96.5
(2)消費税	1,500,000	1,500,000	100.0
経常利益	39,750,520	△12,610,157	-
5 特別利益	0	0	-
(1)固定資産売却益	0	0	-
(2)過年度損益修正益	0	0	-
6 特別損失	0	0	-
(1)固定資産譲渡損	0	0	-
(2)過年度損益修正損	0	0	-
(3)退職給付引当金繰入額	0	0	-
(4)賞与引当金繰入額	0	0	-
(5)臨時損失	0	0	-
当期純利益	39,750,520	△12,610,157	-
前期末未処分利益剰余金	445,850,579	445,850,579	100.0
利益剰余金処分額	0	0	-
当期末未処分利益剰余金	485,601,099	433,240,422	112.1

（注1） 長期前受金戻入、減価償却費、資産減耗費、消費税は、年間予算額の1/2である。

（注2） 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。

当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

工業用水道事業貸借対照表

(令和6年9月30日現在)

資産の部		負債資本の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
固定資産	867,833,830	固定負債	422,413,092
有形固定資産	864,840,145	企業債	357,823,764
土地	48,605,573	退職給付引当金	64,589,328
建物	17,582,409	修繕引当金	0
構築物	427,052,548	流動負債	8,446,647
機械及び装置	302,758,316	企業債	6,944,397
車両運搬具	28	未払金	1,502,250
工具器具及び備品	1,104,824	前受金	0
建設仮勘定	63,749,447	その他流動負債	0
工事勘定	3,987,000		
無形固定資産	179,970	繰延収益	112,736,602
投資	2,813,715	長期前受金	1,526,883,272
出資金	2,813,715	長期前受金収益化累計額	△ 1,414,146,670
長期貸付金	0	資本金	1,873,938,468
流動資産	2,968,569,051	自己資本金	1,873,938,468
現金預金	2,895,207,762	剰余金	1,418,868,072
未収金	66,326,389	資本剰余金	522,646,585
貸倒引当金(未収金)	0	利益剰余金	896,221,487
有価証券	0	減債積立金	0
貯蔵品	1,780,785	建設改良積立金	428,000,000
前払金	5,254,115	当期末未処分利益剰余金	485,601,099
短期貸付金	0	その他未処分	
その他流動資産	0	利益剰余金変動額	0
	0	当年度未処理欠損金	△ 17,379,612
計	3,836,402,881	計	3,836,402,881

(注1) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。

令和5年度工業用水道事業の決算の状況

令和5年度末の給水事業所数は、前年度と同数の52所で、1日当たりの契約水量は前年度に比べ72立方メートル（0.4%）増加し、1万7,127立方メートルとなりました。また、年間の配水量は385万9,316立方メートルで、前年度に比べ4,594立方メートル（0.1%）増加しています。

令和5年度の収入は、給水収益の増等により、前年度に比べて、211万円（0.7%）の増となりました。支出は、委託料の増等により、前年度に比べて、2,865万円（9.9%）の増となりました。

この結果、令和5年度の決算は、給水収益などの収益的収入総額2億9,991万円に対し、給水収益などをもって充てる経費である収益的支出総額は3億1,729万円で、差引き1,738万円の純損失となりました。また、令和5年度末の累積黒字（未処分利益剰余金）は4億2,847万円となりました。

資本的収支においては、建設改良費や企業債償還金等の資本的支出は、1億4,336万円となりました。この財源として、企業債の資本的収入1,074万円で賄い、なお不足する額1億3,262万円は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

令和6年度上半期 下水道事業の業務の状況

1 事業の概況

(1) 業務量

区 分	令和6年度上半期	令和5年度上半期	前年比
処理区域面積 (ha)			
西宮処理区	3,113.37	3,113.37	100.0%
武庫川下流処理区	1,164.77	1,164.77	100.0%
武庫川上流処理区	550.97	550.93	100.0%
計	4,829.11	4,829.07	100.0%
処理水量 (m ³)			
西宮処理区	30,562,450	30,379,280	100.6%
武庫川下流処理区	6,453,251	6,195,736	104.2%
武庫川上流処理区	985,068	1,029,189	95.7%
計	38,000,769	37,604,205	101.1%

注 武庫川下流、上流処理区の処理水量は、流域下水道への流入量とする。

(2) 建設

公共下水道整備費で施工している主な工事は、次のとおりです。

1. 上田南ポンプ場スクリーンかす設備雨水自動除塵機外改築工事
2. 甲子園浜浄化センター電気棟高圧受変電設備改築工事
3. 甲子園浜浄化センターNo.1,2ブロワ設備改築工事

2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が51億6,953万円(下水道使用料、雨水処理負担金等)で、これに対する営業費用の55億8,912万円を差引くと4億1,959万円の営業損失となります。これに営業外収益(他会計補助金、長期前受金戻入等)、営業外費用(支払利息等)を加減すると11億8,545万円の経常利益となり、当期は11億8,545万円の純利益となります。

(令和6年9月30日現在)

科 目	令和6年度上半期	令和5年度上半期	前年比(%)
1 営業収益	5,169,531,615	5,115,834,741	101.0
(1) 下水道使用料	2,864,217,501	2,844,789,379	100.7
(2) 雨水処理負担金	2,034,389,000	1,983,164,000	102.6
(3) 他会計負担金	250,293,000	266,704,000	93.8
(4) その他の営業収益	20,632,114	21,177,362	97.4
			-
2 営業費用	5,589,129,916	5,415,075,721	103.2
(1) 管渠費	60,390,516	80,537,233	75.0
(2) ポンプ場費	176,580,212	184,483,331	95.7
(3) 処理場費	1,153,093,027	1,118,391,731	103.1
(4) 流域下水道維持管理負担金	567,314,000	457,558,000	124.0
(5) 業務費	82,213,904	70,468,245	116.7
(6) 総係費	81,465,257	73,412,181	111.0
(7) 減価償却費	3,391,568,000	3,371,580,000	100.6
(8) 資産減耗費	76,505,000	58,645,000	130.5
			-
営業利益	△419,598,301	△299,240,980	-
			-
3 営業外収益	1,990,133,475	1,947,493,892	102.2
(1) 受取利息	90,410	764	11,833.8
(2) 国庫補助金	0	0	-
(3) 他会計補助金	471,141,000	415,653,000	113.3
(4) 長期前受金戻入	1,476,940,000	1,465,103,500	100.8
(5) 雑収益	41,962,065	66,736,628	62.9
			-
4 営業外費用	385,081,009	403,284,005	95.5
(1) 支払利息等	311,583,509	329,786,505	94.5
(2) 消費税	25,000,000	25,000,000	100.0
(3) 雑支出	0	0	-
(4) 長期前払消費税額償却	48,497,500	48,497,500	100.0
			-
経常利益	1,185,454,165	1,244,968,907	95.2
			-
5 特別利益	0	0	-
(1) 固定資産売却益	0	0	-
(2) 過年度損益修正益	0	0	-
(3) その他特別利益	0	0	-
			-
6 特別損失	0	0	-
(1) 固定資産譲渡損	0	0	-
(2) 過年度損益修正損	0	0	-
(3) 退職給付費引当金繰入額	0	0	-
			-
当期純利益	1,185,454,165	1,244,968,907	95.2
前期末末処分利益剰余金	1,825,475,773	1,985,977,138	91.9
利益剰余金処分額	0	0	-
当期末末処分利益剰余金	3,010,929,938	3,230,946,045	93.2

(注1) 長期前受金戻入、減価償却費、資産減耗費、消費税、長期前払消費税額償却は年間予算額の1/2である。

(注2) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。

当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

下水道事業貸借対照表

(令和6年9月30日現在)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
固定資産	183,129,899,944	固定負債	50,513,657,845
有形固定資産	177,824,299,740	企業債	50,328,800,585
土地	32,347,586,477	退職給付引当金	184,857,260
建物	3,527,246,307	修繕引当金	0
構築物	107,021,042,147		
機械及び装置	25,977,033,751	流動負債	2,907,800,330
車両運搬具	3,584,114	企業債	1,972,000,166
工具器具及び備品	9,540,463	未払金	926,632,954
建設仮勘定	7,494,975,298	前受金	530,000
工事勘定	1,443,291,183	賞与引当金	0
無形固定資産	3,530,991,396	一時借入金	0
投資	1,774,608,808	その他流動負債	8,637,210
長期前払消費税	1,400,732,224		
出資金	5,089,500	繰延収益	65,335,684,614
長期貸付金	0	長期前受金	107,429,872,109
基金	368,787,084	長期前受金収益化累計額	△ 42,094,187,495
		資本金	41,554,413,039
流動資産	2,793,647,214	自己資本金	41,554,413,039
現金預金	1,418,528,065		
未収金	1,102,746,710	剰余金	25,611,991,330
有価証券	0	資本剰余金	22,253,758,400
前払金	272,372,439	利益剰余金	3,358,232,930
短期貸付金	0	当期末未処分利益	
前払費用	0	剰余金	3,010,929,938
その他流動資産	0	その他未処分	
		利益剰余金変動額	347,302,992
計	185,923,547,158	計	185,923,547,158

(注1) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。

令和5年度下水道事業の決算の状況

令和5年度末の処理区域内人口は、48万2,263人で、前年度より1,023人（0.2%）減少しています。また、処理区域内戸数は24万1,163戸で、前年度より1,427戸（0.6%）増加しました。

年間の処理水量は7,173万6,853立方メートルとなり、前年度より149万3,669立方メートル（2.1%）増加しました。

令和5年度の収入は下水道使用料等で減となりましたが、雨水処理負担金等の増により、前年度に比べて2億4,723万円の増となりました。支出は支払利息等で減となりましたが、資産減耗費等の増により、前年度に比べて、1億8,806万円の増となりました。

この結果、令和5年度の決算は下水道使用料などの収益的収入総額115億9,478万円に対し、下水道使用料収入、雨水処理負担金などをもって充てる経費である収益的支出総額は114億798万円で、差引き1億8,680万円の純利益となりました。また、令和5年度末の累積黒字（未処分利益剰余金）は21億7,278万円となりました。

資本的収支においては、建設改良費、企業債償還金等の資本的支出が111億3,739万円で、この財源として企業債、国庫補助金、一般会計からの補助金等の資本的収入65億5,937万円を充当し、なお不足する額45億7,802万円は損益勘定留保資金等で補てんしました。